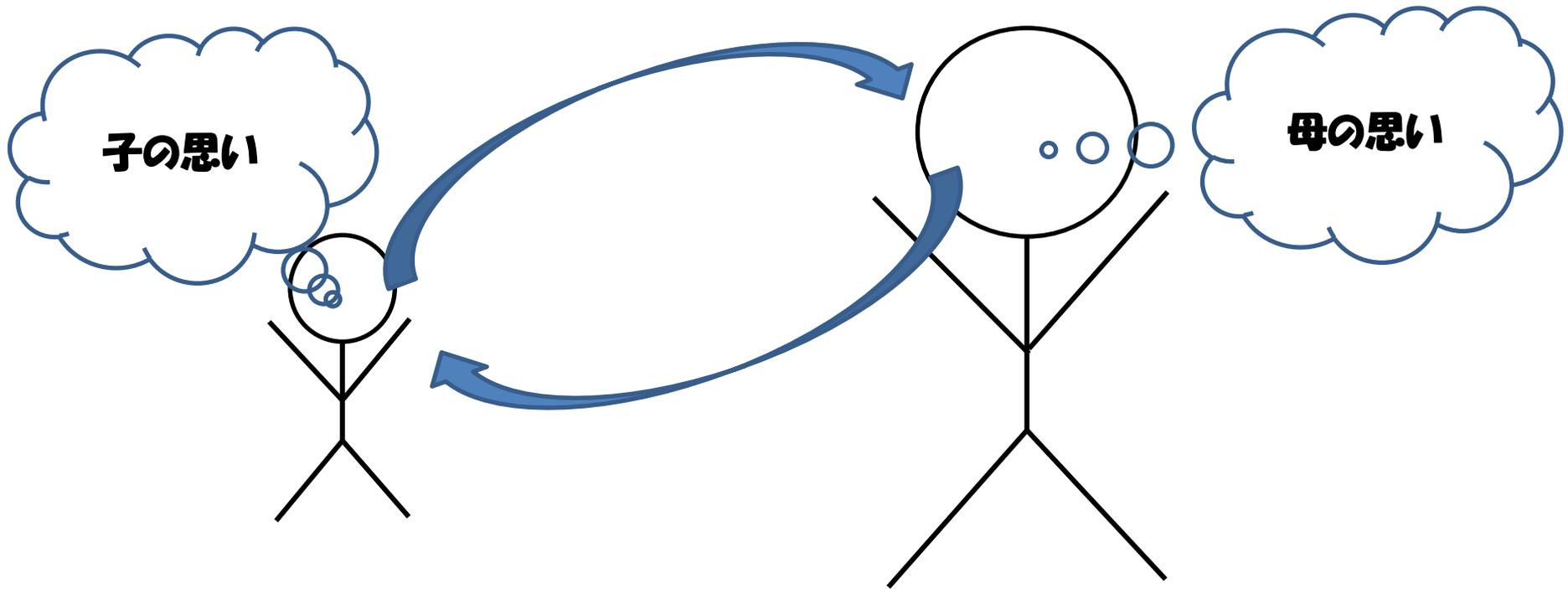


「思いを大切にする」とは何か？



国立障害者リハビリテーションセンター
学院 児童指導員科 関 剛規

<はじめに>

**「思いを大切にする」のは、支援の基本です。
でも、「思いを伝える」「思いを受け取る」ことが
あまり上手ではない、苦手とする子がいます。
社会スキルと捉えれば、スキルは磨くことができます。
苦手なことを苦手のままにしないのも大切な支援です。**

【発達障害者支援法 第1条】

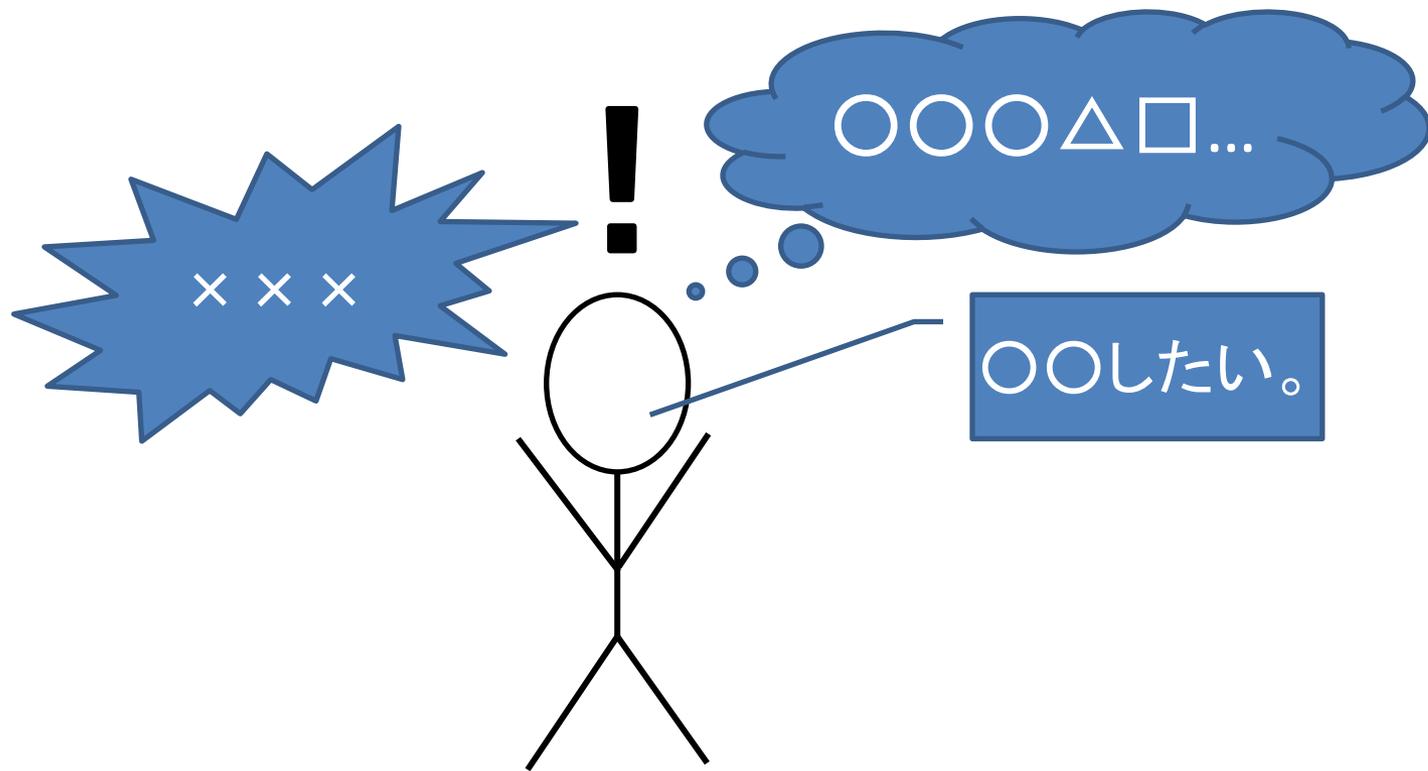
**発達障害の症状の発現後、できるだけ早期に
発達支援を行うことが特に重要である。**

発達支援を行うことはできているか…？

発達支援が行えていない理由=支援がわからない

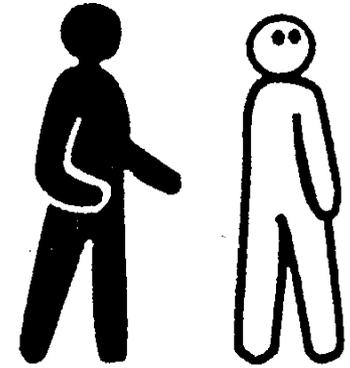
わからないままにするか、しないか。

いろいろな思いがあり、
いろいろなこと(行動)がある。



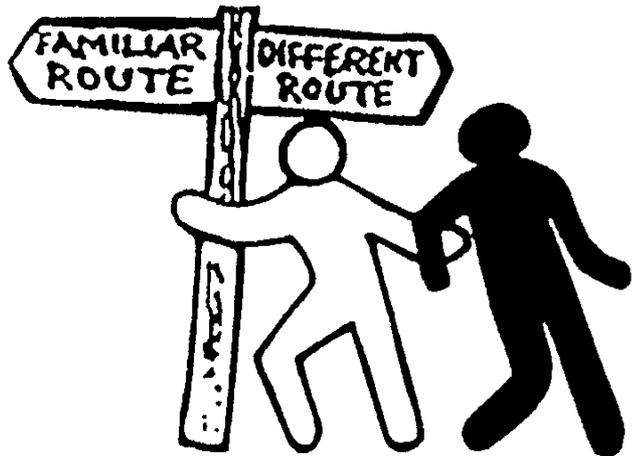


One-sided interaction



No eye contact

発達障害!?

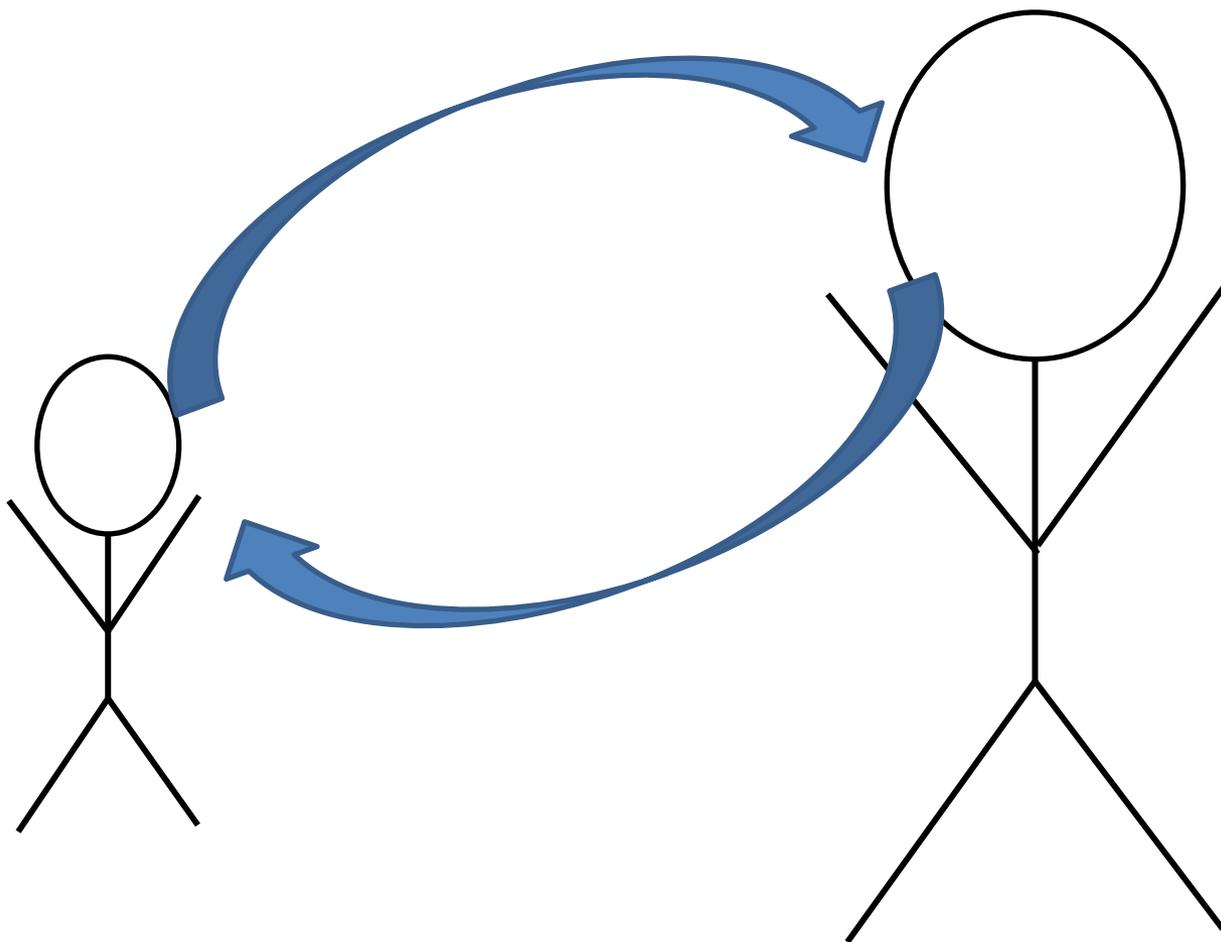


Change is unwelcome

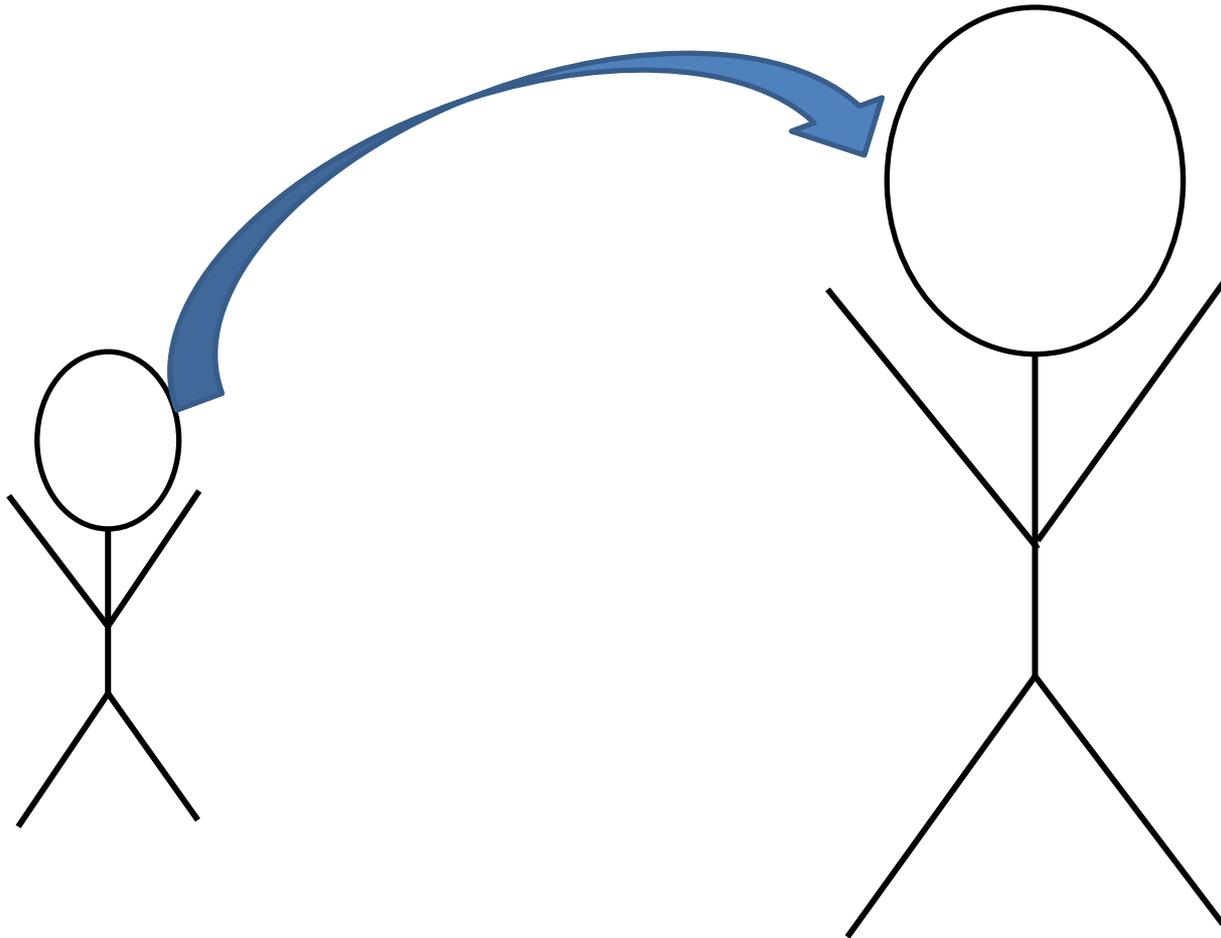


Uses objects without awareness of their real purpose

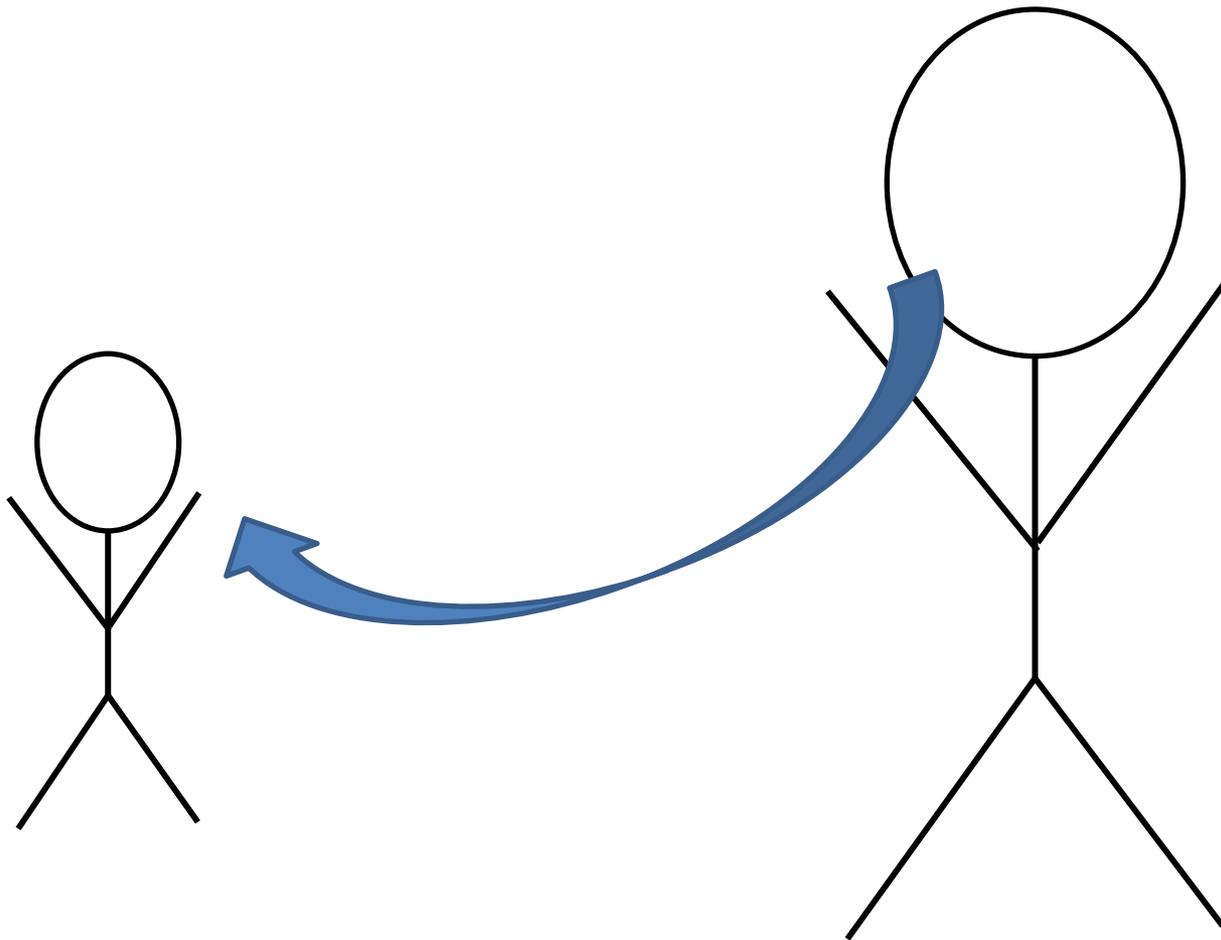
コミュニケーションを分解する



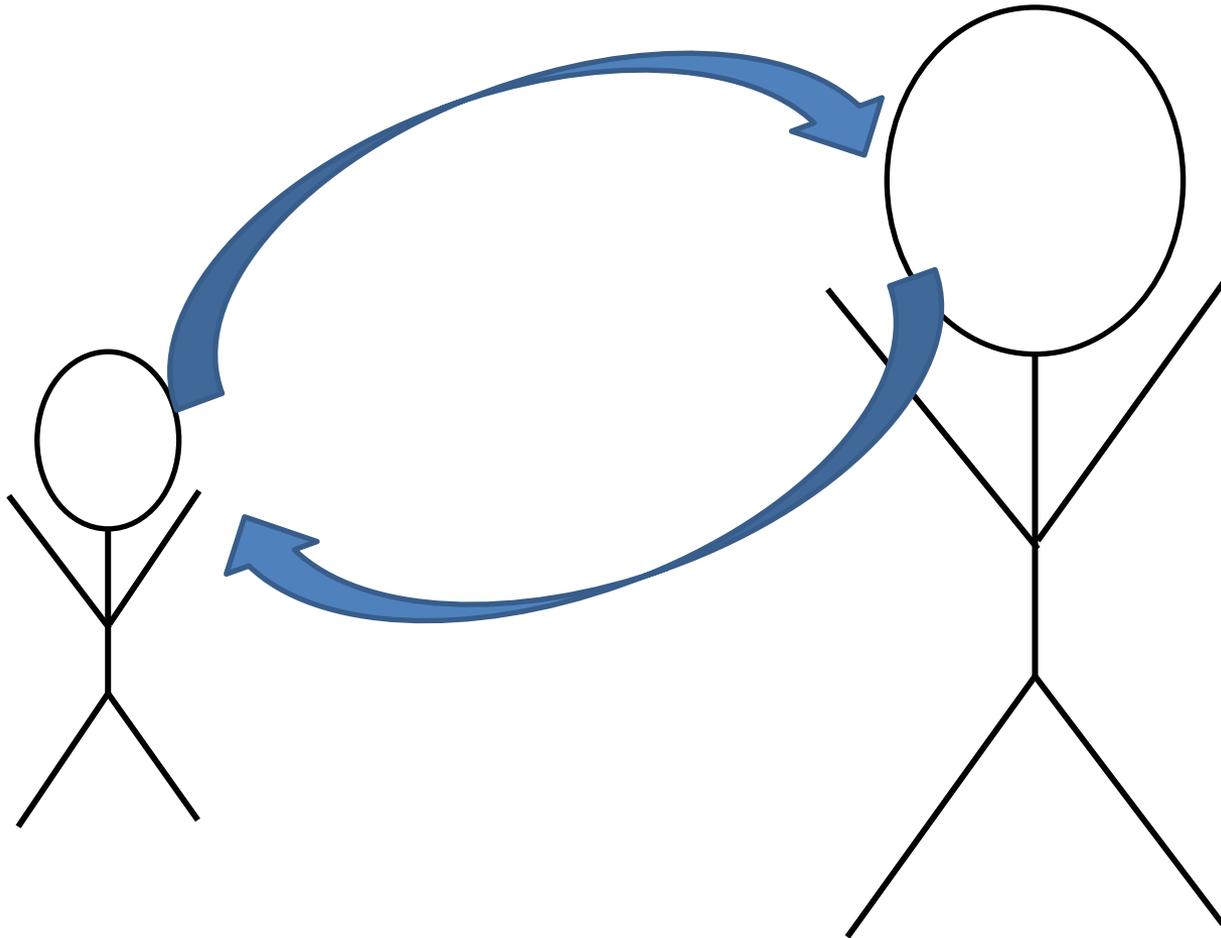
表現性のコミュニケーション



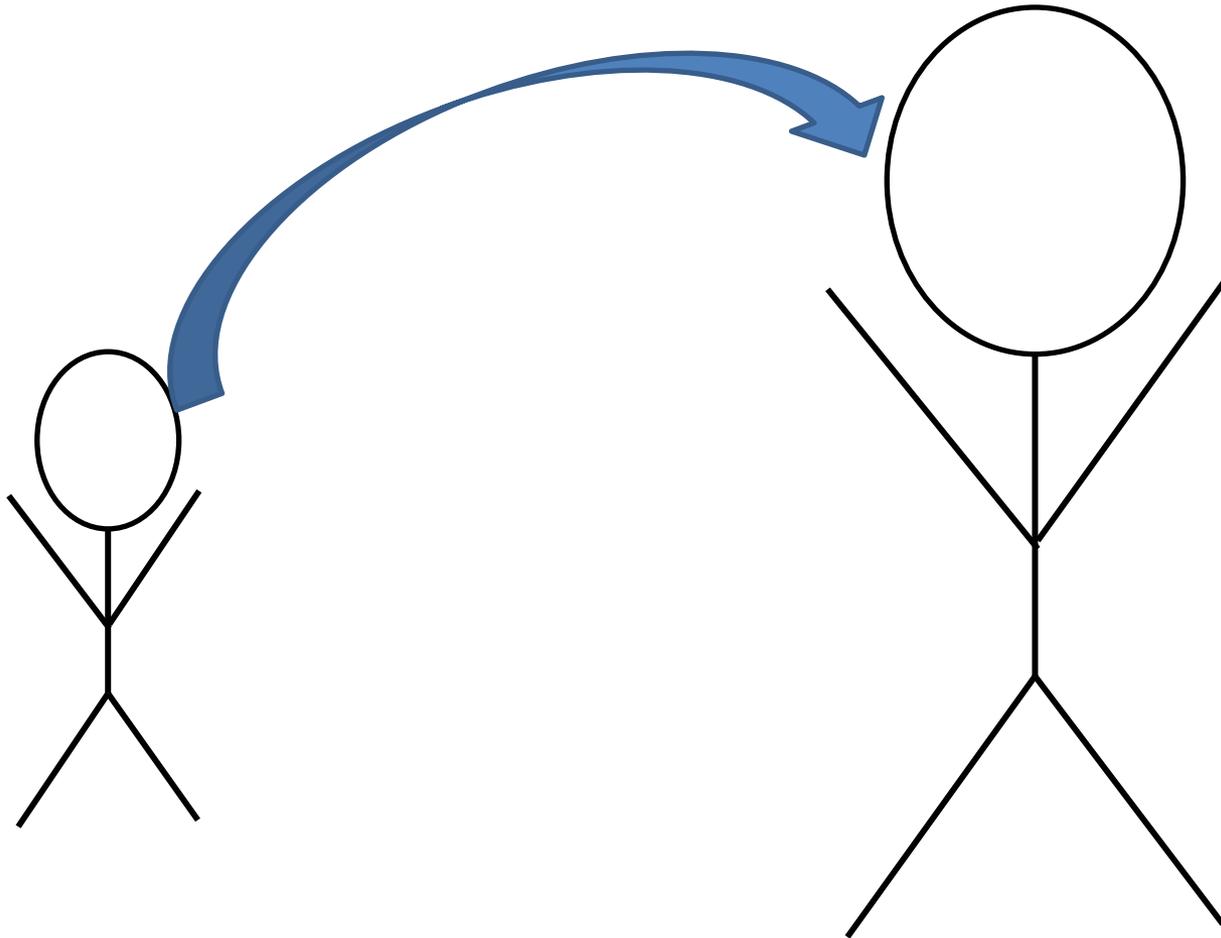
受容性のコミュニケーション



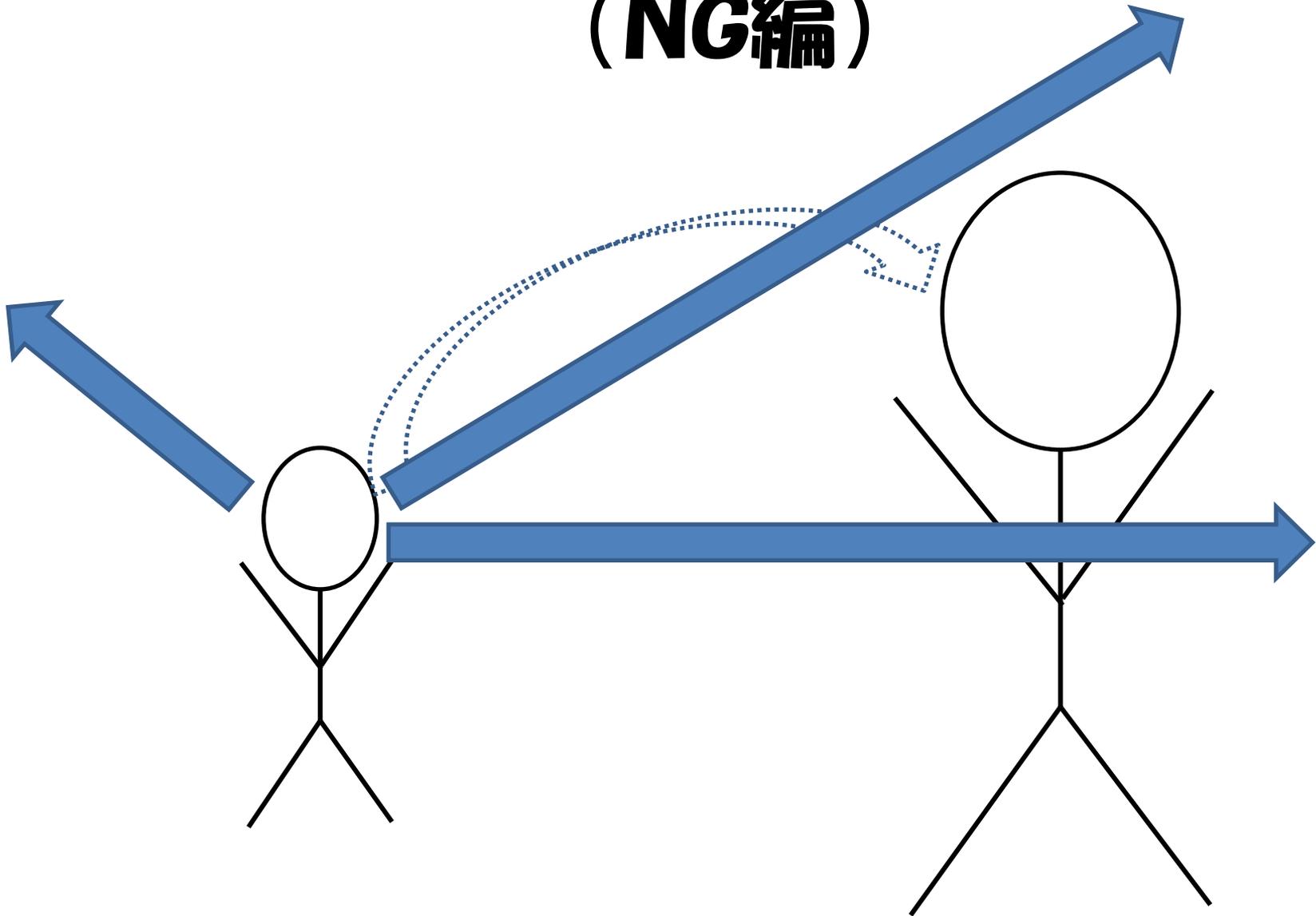
相互のコミュニケーション



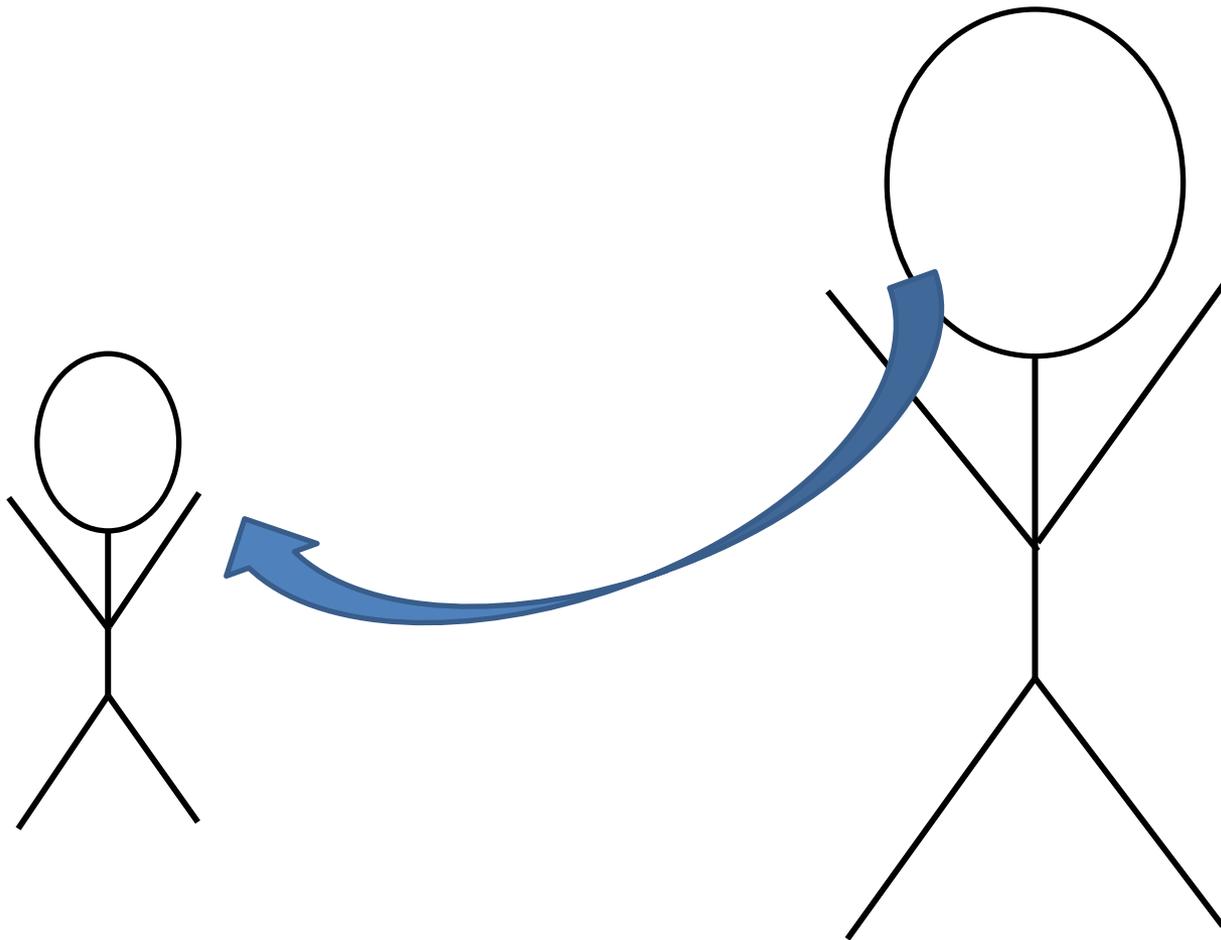
表現性のコミュニケーション



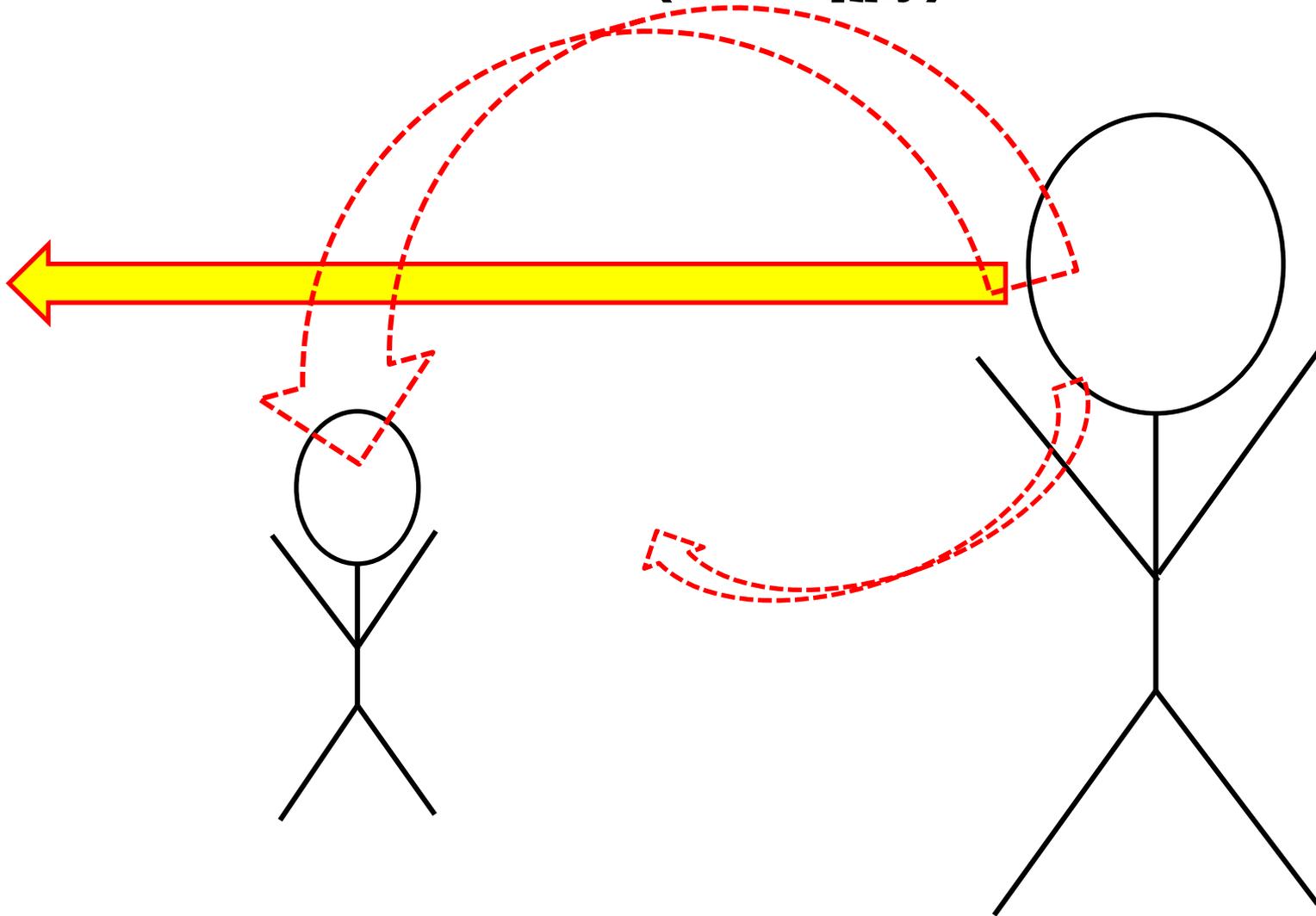
表現性のコミュニケーション (NG編)



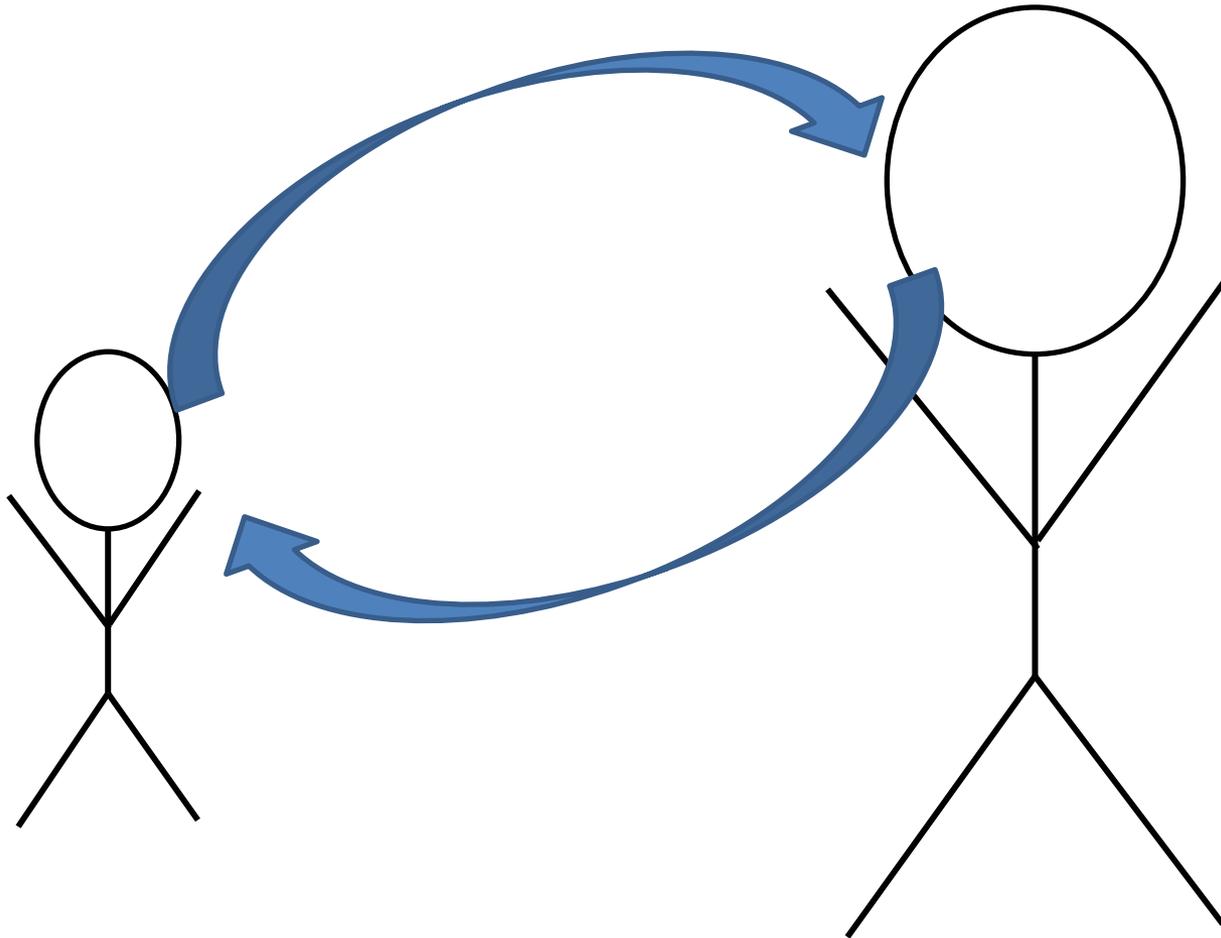
受容性のコミュニケーション



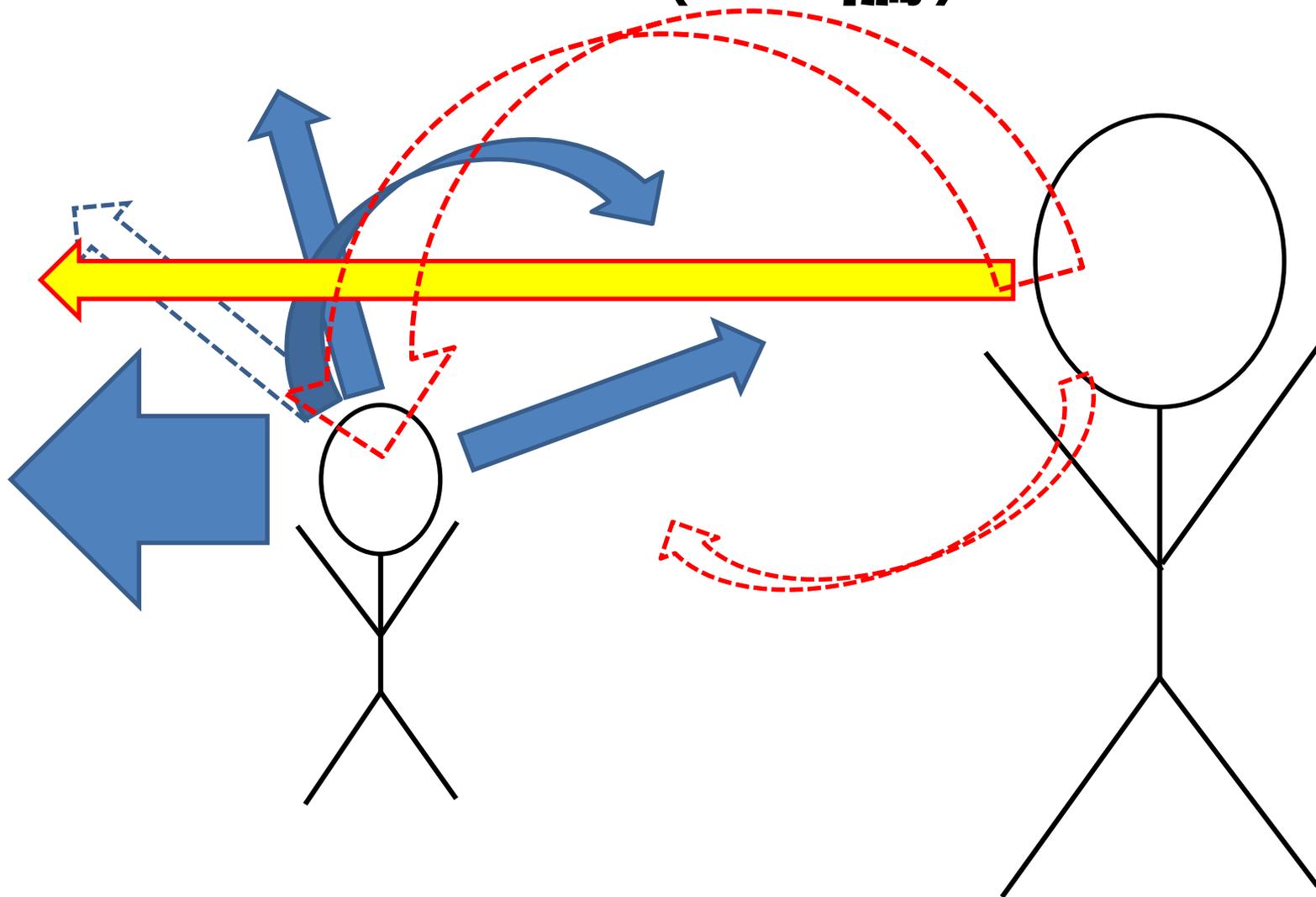
受容性のコミュニケーション (NG編)



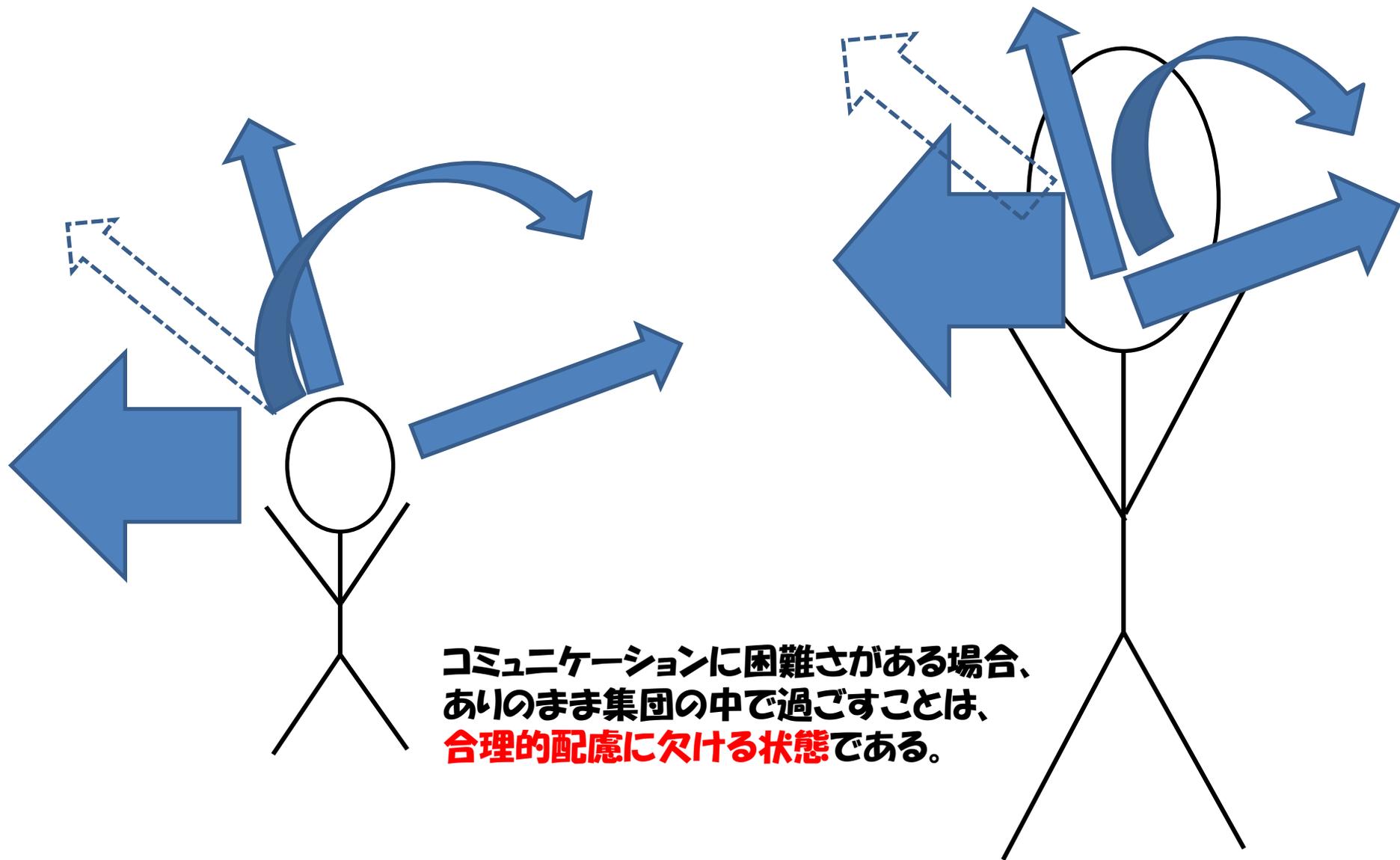
相互のコミュニケーション



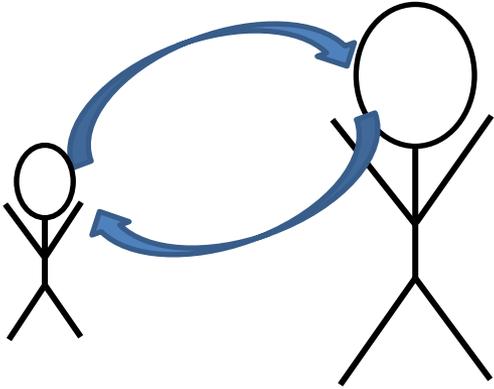
相互のコミュニケーション (NG編)



あいのままであれば、あいのままに育つ



「思いを大切にする」とは何か？ 定義と評価



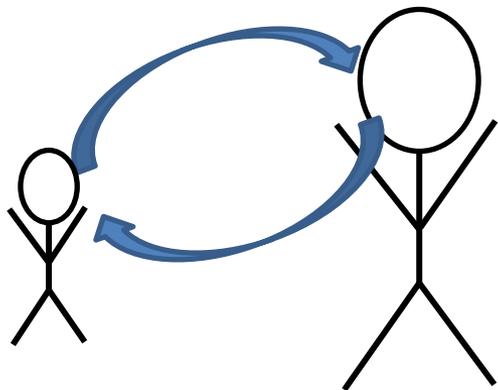
支援は、1人がするものではなく、チームで行うもの。

チームで支援するには、チーム目標があり、共通言語と共通理解が不可欠。

その前提として、アセスメントがある。

支援チームは、**アセスメントに基づいて、個別支援計画を作成し、実行、評価を展開していく。**

「思いを大切にする」とは何か？ 定義と評価



評価するには、基準と尺度が必要

※「思い」「大切にする」を共通理解することは大変難しい

↓
アセスメント (Vineland- II)

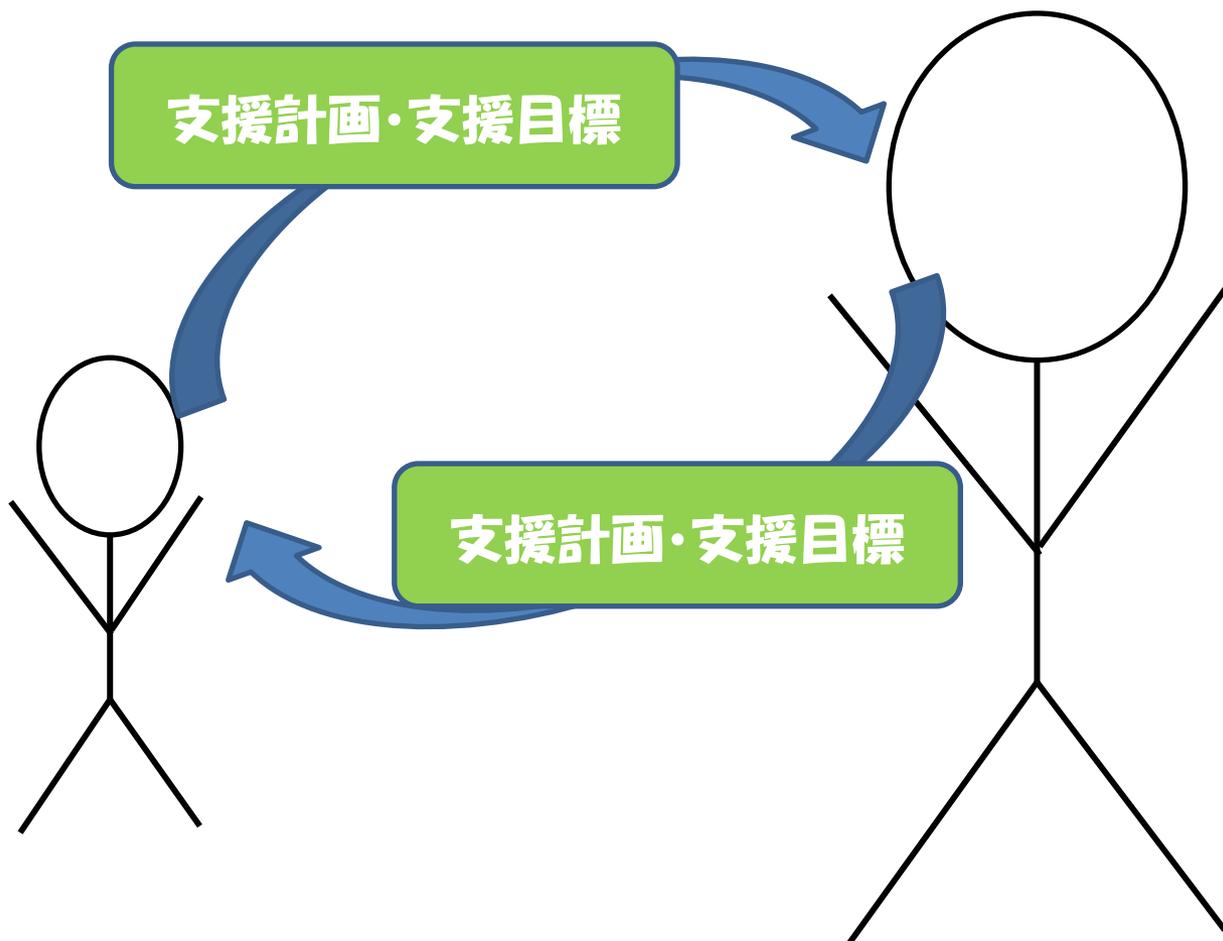
国際標準の適応行動尺度を使用し、支援を提供する上での根拠とする

↓
個別支援計画の作成

↓
支援の開始

↓
評価

支援計画・支援目標



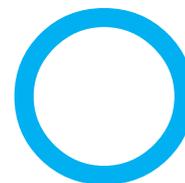
支援計画・支援目標



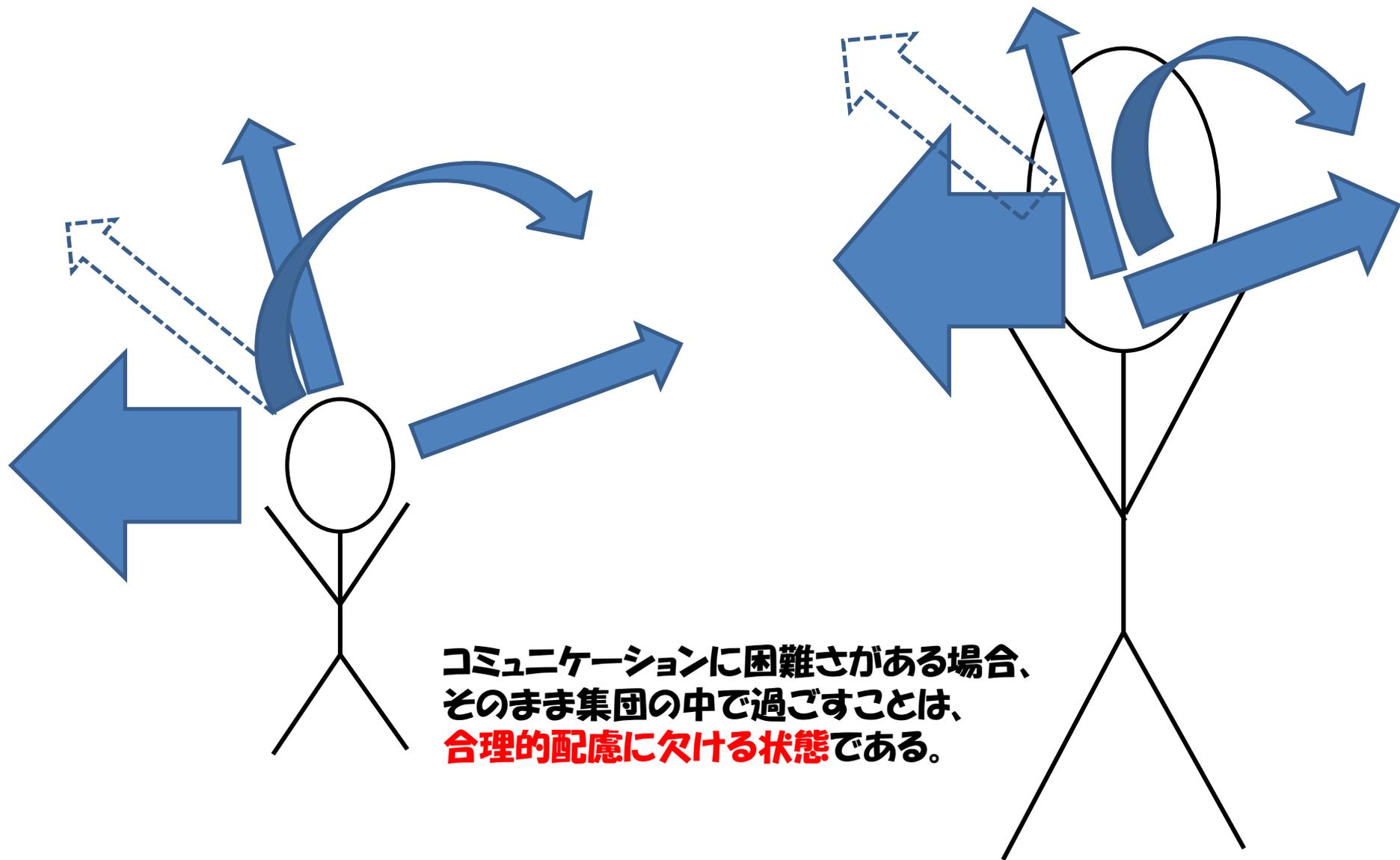
支援計画がない、形骸化している。
支援計画に本人に合わせる。



本人のニーズに沿った支援計画の実施



あいのままであれば、あいのままに育つ



支援計画・支援目標



支援は、事前準備でほぼ決まる。

プログラムがなければ、事前準備はいらない。

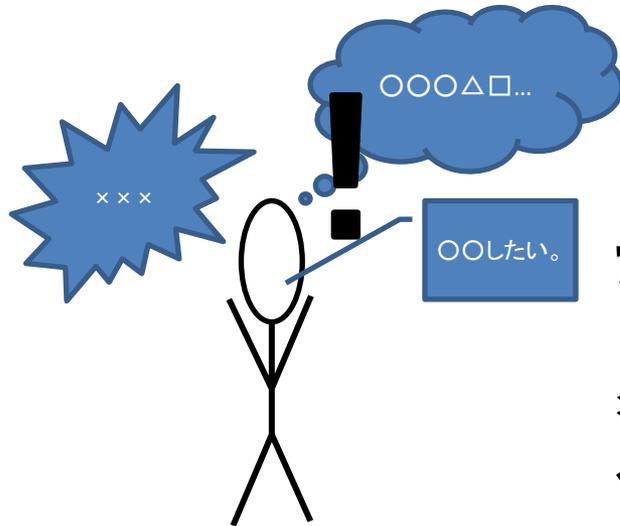
ありのままでは、事前準備も、支援計画・支援目標も、プログラムも、機能不全を起こす。

プログラムに明記したことができなければ、契約不履行の時代。

何を目標とし、何をもちてできたとするか、**支援計画と支援内容の整合性**が問われる。

支援計画・支援目標

ポイント



<やらなくてよいこと>

大人の指示に従う習慣は、身につけなくていい。

<やってはいけないこと>

多数の人がやっているという理由だけで皆と同じように振舞わせようとしてはいけない。

<やるべきこと>

最低限守るべきルールを守ろうという意欲は育てなければならない。 本田秀夫先生(信州大学)

合意

(社会参加に必要な自律スキルとソーシャルスキルの両立が鍵)